

図書館だより

令和8年5月13日

文責 鴨川



新年度が始まって一か月。

新しい生活にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。そんな今だからこそ、自分の時間も大切にしてみませんか？

図書館には、静かに気持ちを整えてくれる本や、気軽に読める短いお話などが揃っています。

ふとしたときに、自分に合う一冊を見つけに来てみてください。

お知らせ



今年度から、返却場所がPC横になりました。

より便利になりましたので、気軽にご利用ください。



新着図書

	天上の虹9	里中満智子
	飛鳥時代の女帝・持統天皇の生涯を史実とドラマを織り交ぜながら壮大に描いた“万葉大河ロマン”	
	謎の香りはパン屋から2	土屋うさぎ
	パン屋に忍び込んだ小さな謎が、人々の心をそっと揺らす優しい日常ミステリー	
	ほどなく、お別れです	長月天音
	将来が見えない主人公が、“お別れの仕事”を通して、人の生き方に触れ、自分の道を探していく成長物語	
	明鏡	今野敏
	人気警察小説「安積班」シリーズの最新短編集。詐欺や学校トラブルなど、身近な社会問題を解きほぐす。	
	生きる言葉	俵万智
	短歌や日常の言葉を通して、人が「伝えること」と「生きること」の深いつながりをやさしく見つめ直すエッセイ集。	
	エデンの裏庭	吉田篤弘
	名作の裏側に潜む創作の記憶や日常の断片を、静かな筆致で描き出した短編集。	

今回紹介した本含めて、全部で15冊の新しい本が入りました。どんな本があるのか、ぜひ気軽に覗いてみてください。気になる一冊が見つかったら、ぜひ借りて読んでみてください。